



江戸川区立篠崎図書館 〒133-0061 江戸川区篠崎町7-20-19 篠崎文化プラザ内 (03-3670-9102)

<http://www.shinozaki-bunkaplaza.com/library>

館長の紙BLOG

2009年7月1日

行く星 来る星

今年はいよいよ食が花を添える世界天文年ということ、巷は宇宙への関心で沸き立っています。わが国もかぐや姫以来の宇宙志向の美風を脈々と受け継ぎ、今も若田光一さんが国際宇宙ステーションに張り付いています。

オリジナルな星のほかに、各国の宇宙探査機が深遠なあなたに次つぎに飛び出して天体の仲間入りをしています。その逆に、宇宙から地球を訪れた天体、つまり、隕石もないがしろにできません。大事な遠来のお客さまです。

折から先日にも百年前のツングースカ大爆発の原因となった落下物を究明するニュースが流れました。「ぐわあぁー」と落ちてきてどっかーん！ 腰が抜けました」などの体育会系的証言しかなかった当時の状況を現代の小惑星科学が溯つて解明を試みています。

コンゴ人民共和国にテレ湖という湖がありまして、Google Earthで現地に飛ぶと密林に実まんに丸くぽつかり開いた湖面が眺められます。つまり、隕石の激突の跡ではないかと容易に思わせるのみならず、まん丸との因果関係はよくわからないながら「モケレ・ムベンベ」なる妖しのイキモノが湖の主として君臨していて、それをつぶさに追跡した高野秀行氏が「幻獣ムベンベ」を著しています。

隕石激突の痕跡を巡礼した「火山とクレーターを旅する」(白尾元理・著)は、これぞ本邦初の大衆的クレーター本ではないでしょうか。同書で紹介されている、たとえばオーストラリアにあるハンベリークレーター群は、約五千年前に隕石雨が降りそそいだ跡で、まことにかわいらしいクレーターが狭い範囲に13個散らばっています。ホソオビアオジタトカゲが足で砂をかけるほかは風化のしようもない乾燥地帯なればこそしっかり残っているわけで、これが我が国だったら、穴ボコは野良仕事の邪魔、邪魔というところで完璧に埋められているはず。

行く星にも来る星にもあるそれぞれのよさをパランス感覚あふれる天秤座の気分を書いてみました。え、わたくし? さそり座です。

イベント情報 7・8月

開館1周年記念企画

「ふるさと遺産 〈民話〉を楽しむ会」

7月26日(日)

14:00~15:30 (開場:13:30)

語り:江戸川区おはなしボランティア連絡会

※消えかけている土地言葉「葛西弁」でのお話があります。

篠崎文化プラザ講義室

定員:50名(当日受付、先着順) どなたでも参加できます。

入場料:無料

お問合せ:篠崎図書館 (03-3670-9102)まで

第6回

大人のための映画会 / ライブラシネマ篠崎

「夜」(1961年 伊・仏作品)

主演:マルチェロ・マストロヤンニ ジャンヌ・モロー

8月22日(土)

14:00~16:00 (開場:13:30)

篠崎文化プラザ講義室

定員:70名(当日受付、先着順)

どなたでも参加できます

入場料:無料

お問合せ:篠崎図書館 (03-3670-9102)まで

☆特集展示☆

7月 「宇宙(そら) ー世界天文年ー」

2009年は世界天文年。天体観測、星座、宇宙などの天文に関する本で宇宙に思いを馳せてみませんか。

8月 「暑い夏には熱い本！」

恋愛小説、スポ魂もの、激辛料理など思わず発汗しそうな作品の数々で刺激的な夏を満喫して頂きます。

スタッフのセレクション！

その第7回

篠崎図書館で働くスタッフがほとんど個人的趣味で選んだおすすめ本やCDを紹介します。今号は、Sさんが選んだ感動巨編です。

『邂逅(かいこう)の森』

熊谷 達也著 文藝春秋刊 2006.12 ISBN:4-16-772401-4

所蔵館: 篠崎ほか



見渡せば白い稜線に青い空、息を殺して獲物をじっと待つ—読み始めて数ページ、気が付くとそんな猟師の気持ちになっていた。

主人公の富治はマタギ一家の次男である。マタギとは、秋田・青森を中心に中部・東北地方の山間部に住み、専門的な狩猟技術を有する狩猟集団、又は個人をいう。アオシシ(ニホンカモシカ)や熊を獲り、多くの山言葉や禁忌を伝承して活動する点で通常の狩人と異なる文化を持つという。14歳で初マタギ猟を終えた富治は、山形県阿仁村の狩猟組に属し、山を愛し、畏れ敬い、なによりマタギ仕事にやりがいを感じていた。

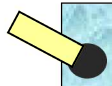
やがて青年になった富治は阿仁村の有力者の娘と恋に落ちるが、身分違いのその恋が元で村を追われ、マタギの仕事も取り上げられてしまう。紆余曲折を経て、鉱山でそれ

なりに優秀な鉱夫となった富治だが、山と狩猟への思いを断ち切れない。

マタギの生活や掟が丁寧に描かれ、富治や村人たちの人間ドラマも読みごたえがあるが、物語の中心は富治たち人間と山、雪、動物たちなど自然との闘いである。特に終盤の熊との闘いには荘厳さすら感じる。

東京で生まれ、冬山といえば、スキー場しか知らない。そんな私が、厳寒の山中で沢の流れる音を聞き、熊の咆哮を聞き、熊追いを仕掛ける緊張に身を硬くする。時代も性別も違う別の人生を体感できる。これぞ読書の醍醐味ではないだろうか？読んで五感で感じる、そんな作品であると思う。

参考文献『精選日本民俗辞典』吉川弘文館、『日本民俗事典』弘文堂



人物ブックマーク

人物ブックマークとは歴史上の人物を紹介し、一緒に関連本を紹介するコーナーです。

第四葉 現代に生きる黒田官兵衛

今回ご紹介するのは稀代の軍師、黒田官兵衛だ。官兵衛は通称で、本名は考高。秀吉の軍師として、天下統一事業に貢献し、軍略だけでなく築城や茶道など多方面でマルチな才能を発揮した男である。その彼の最大の特徴は何かというと、すなわち、発想力と行動力、である。

官兵衛の高度な発想力の証として

(黒田官兵衛関連本)

「稀代の軍師 黒田如水とその一族」 新人物往来社 請求記号：289ク 所蔵館：篠崎
智才のみで、小豪族から天下を狙うまでにのし上がった、天才軍師の生涯を辿る。

は、当時の日本の常識を破る奇抜な作戦を遂行した高松城の水攻めがあげられるだろう。また、疾風のような行動力の実例としては、関ヶ原の戦いの時に空白となった九州で、天下を狙い挙兵し、短期間で北九州をほぼ制圧、九州制覇まであと一步のところまでいったことがその証左となろう。この官兵衛の発想力と行動力が、秀吉の天下

統一の原動力となったといっても過言ではないのである。

翻って、現代に生きる我々にとって、この発想力と行動力は今の厳しい経済状況下では、とくに求められる能力であり、大きな武器になるはずである。黒田官兵衛の人生をたどることにより、その能力の秘密を解き明かしてみたいかがだろうか。



視聴覚資料の森

CD「エアリアル」 ケイト・ブッシュ

請求記号G1ケ-05914 所蔵館: 篠崎ほか

「才色兼備」という言葉で真っ先に“ケイト・ブッシュ”に思い当たる人は、なかなかの通である。弱冠13歳の時に原案ができていたというシングル「嵐ヶ丘」で衝撃的なデビューを果たした彼女は、その後、93年までにアルバムを7枚発表し、そのどれもが彼女の表現者としての才能を証明している。

今回紹介するCD「エアリアル」は、彼女の12年にも及ぶ活動休止期間を経

て発表されたものである。この間に彼女は出産と育児を経験し、“母親”となっている。そのためか、楽曲がこれまでの艶めいた感じから、全体的に抑えられたトーンに変化した。これは、愛息と過ごしてきた、彼女を取り巻く穏やかな環境のあらわれといえるだろう。とはいえ、彼女の復帰を待ち望んでいたファンが冒頭の曲を耳にすれば、それが紛うことのない“ケイト”であり、かつ新

しいケイトであることに心躍らされる。

ビョークを筆頭に、彼女が後進に与えた影響は非常に大きい。ゆえに、その存在は他の追随を許さず、もはや孤高の人と、呼べるかもしれない。けれども、何より驚くべきことは、77年のデビュー当時(19才!)から何一つ(声すらも!)変わっていないということ。それは、“最初からすでに完成していた”ことの証だといえるのである。